

ドクターヘリ・格納庫の完成

旧スポーツワールドの敷地の一部に順天堂大学静岡病院が整備したドクターヘリの格納庫が完成しました。これは、静岡県や伊豆地域の各市町も資金協力しており、ヘリの整備や悪天候時の避難施設として機能を発揮しています。以前は、荒天時には名古屋の方まで避難していましたが、今後は、天候の回復と同時に出動でき、今まで以上の活躍が期待されます。



大仁高校が『大仁くぬぎ会館』にリニューアルされました

以前より跡地の有効利用が叫ばれていた大仁高校が、老朽化した大仁市民会館の代替施設として、静岡県より10年の期限付きで伊豆の国市が無償貸与を受け、「大仁くぬぎ会館」としてリニューアルオープンしました。皆さまも一度行かれてみてはいかがでしょうか。

大仁高校の敷地全てが利用されている訳ではなく、体育館とグラウンドは利用されていません。地域の皆さまも、市と連携を図ってアイデアを出し合い、県に活用方法について働きかけていきましょう。



【住 所】 静岡県伊豆の国市大仁334 【休 館 日】 毎週月曜日、年末年始(12月28日～1月3日)
 【電話番号】 0558-76-3601 【アクセス】 伊豆箱根鉄道大仁駅から徒歩8分
 【開館時間】 9:00～21:30 【駐 車 場】 130台(大型バスは進入もできません)

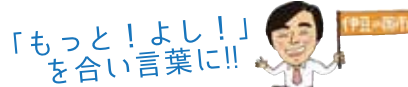
◎ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください。

土屋もとよし事務所

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1
 TEL.055-948-9635・055-948-0267 FAX.055-947-1811

土屋もとよし 検索 URL www.tsuchiya-m.com

携帯の方は左記のQRコードを読み込むか、moto@67865.rat-m.jp まで空メールをお送りください。パソコンの方はmoto@tsuchiya-m.comまで「メール会員希望」とご連絡ください。



静岡県議会議員 [伊豆の国市選出]

もっとよし! レポート。



発行者:土屋もとよし 発行日:平成29年6月15日
 〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL.055-948-9635・055-948-0267 FAX.055-947-1811

土屋もとよし 県政報告 Vol.13

こんにちは! 土屋もとよしです



4月に、伊豆の国市の4年間を背負って立つ市長、市議会議員の選挙がありました。県議会の選挙とは2年の時差がありますが、日頃の活動をしっかりと地道にやっていくことが肝心だと改めて痛感しました。これからも精進して、地域の課題に取り組んでいきます。今後とも、皆さまの温かいご支援・ご協力をよりしくお願いいたします。

さて、今年度は、5月18日の臨時議会で、文教・警察委員会の委員長を拝命いたしました。役割は、県の教育委員会、静岡県警察をしっかりとチェックすることです。県の職員数は全部で約4万人います。内訳は、知事部局に約6千人、静岡県警察に約7千人、教育委員会に約2万7千人です。多くの職員を抱える教育委員会と静岡県警察を所管する、とても重要なポストで責任の重さを実感しているところです。地元でも、大仁警察署の移転・新築や沼津特別支援学校の新築など、

しっかり整備方針を決める
ところまで頑張っていきたい
と思います。

また、議会運営委員会の委員にも、名前を
連ねることになりました。文字通り、議会の運営に
関する様々なやり取りを決めていく、議会にとって
重要な役割です。

皆さまのご支援により、議会において責任ある
役職を任せられるようになりました。地域の課題
を積極的に解決していくことが一番の恩返しと思っ
ております。今後も、一生懸命活動してまいります。
土屋もとよしの活動を見守ってください。

お知らせ

一般質問の登壇

平成29年度の最初の6月議会は、県知事選挙がある関係で、日程が例年より変則となり、6月30日から7月31日までとなります。

この内、7月21日(金)の午前10時30分に一般質問に登壇することになりました。地域にとって重要課題を質問に取り入れようと内容を検討しています。

傍聴にお越しいただければ幸いです。生中継・録画映像は、県議会ホームページでご覧いただけます。

県政報告会の開催

今年度は、地域に出向いて、皆さまの身近な課題や伊豆の国市、伊豆地域の状況をお知らせする県政報告会を開催する予定です。伊豆長岡、大仁、韮山地区各2～3ヶ所で実施したいと考えています。是非お出かけください。

お問い合わせは(電話) 055-948-9635または055-948-0267
 (FAX) 055-947-1811 (メールアドレス) moto@tsuchiya-m.com
 ホームページ (www.tsuchiya-m.com) でも詳細をご案内しています。

ぜひメルマガにも登録ください!



平成29年度、静岡県の事業が動き始めました。その内、静岡県東部地区で展開される各種事業について、取り組みの一部を紹介させていただきます。伊豆の国市に関わる事業は、県政報告会で詳しく説明します。

東京2020オリンピック・パラリンピック 自転車競技に向けた開催準備

- ・主要アクセス道路整備、沿道の景観整備
- ・イベント等の実施による開催気運の盛り上げ
- ・トラック自転車競技世界選手権を見据えたボランティアの養成 等



自転車走行空間の整備計画

- ・伊豆地域で、サイクリングを支援する『矢羽根型路面表示』の整備に着手(自転車の走行位置を示す、ドライバーへの注意喚起)
- ・伊豆地域を周回、横断、縦断するルートで、順次、整備を推進

整備状況



矢羽根型路面表示の設置ルートと優先整備区間



国道136号 江間拡幅工事

東京五輪会場アクセス道路整備事業(用地の買収・法面の工事)を実施しており、静岡県道路公社の事業(橋梁の工事)と交付金事業(地盤の改良工事・道路の改良工事)等の事業を並行して行うことで、早期完成に向けた取り組み

現況



完成(イメージパース)



レディーメード方式による工業団地造成事業 「富士山麓フロンティアパーク小山」

- ・内陸フロンティア関連の工業用地供給もモデル事業として小山町湯船地区内に「富士山麓フロンティアパーク小山」を整備中。総面積31万4千㎡のうち7区画を分譲予定
- ・「富士山麓を借景にした森に佇む工業団地」をコンセプトとして、平成30年10月以降引渡し予定



富士山麓フロンティアパーク概要図

小規模企業経営向上支援事業

- ・経営力向上を図るため工夫・改善による新たな取り組みを実施する小規模企業に対し助成
- ・補助率2/3、上限額50万円



農業地域生産力強化整備事業

韮山の中央農道の事業。農山漁村地域交付金事業として、約3.3kmの用排水路の工事を計画。伊豆の国市との連携で、道路を6mに拡幅する工事に着手



参考資料

農地・農村防災対策事業

昔から被害の大きい農業地域の対策。ため池整備事業や排水機場の整備、河川の堤防整備など、今年度も継続して事業実施



AOIプロジェクトの推進

革新的な栽培技術開発や品種開発を実施し、農業の飛躍的な生産性向上を図る。産業・学校・官庁・金融の幅広い参画を得て、農業を軸とした関連産業のビジネス展開を促進

1 イノベーション拠点の開所(本年夏)

- ・東海大学旧校舎(沼津市西野)を改修
- ・次世代栽培研究室、貸出用研究室、研究機器等を整備

2 イノベーションの源泉たる知の集積

- ・県農林技術研究所に新たな研究科を設置
- ・学術、研究機関の拠点内への組織設置
- ・連携した革新的技術開発の実施

3 民間事業者の研究開発の促進

- ・民間事業者が、拠点機能を活用して研究開発を実施
- ・12社選定済み(県内9社、県外3社)、今後追加予定

4 産学官金連携の場(AOIフォーラム)の立ち上げ

- ・ビジネスマッチングを促進し、事業化案件を創出

5 (一財)アグリオープンイノベーション機構(AOI機構)の設立(本年4月17日設立)

- ・AOIプロジェクトの中核的推進機関として新たな法人を設立(県主導)
- ・プロデューサーやコーディネーターを設置(常勤の専門人材)
- ・民間事業者のビジネス展開を支援

避難所運営マニュアルの改訂

平成28年度、熊本地震における避難所運営の実態調査を実施し、南海トラフ地震などの大規模災害に備える「避難所運営マニュアル」を今年度改訂



木造住宅耐震補強工事の助成 プロジェクト「TOUKAI-0」事業

- ・専門家の無料耐震診断
- ・補強計画策定に補助(限度額9万6千円・補助率2/3)高齢者のみ世帯等は自己負担を無料化
- ・耐震補強工事の補助は一般世帯30万円～、高齢者のみ世帯等50万円～。市町任意で上乘せ有り

「生涯活躍のまち」構想推進

- ・伊豆半島内の市町等が連携し、美しい伊豆半島の魅力を最大限活かし、地域活性化の可能性や戦略を地域ぐるみで検討
- ・モデル事業取組計画を策定、公表



預金小切手プラン



静岡県警は、銀行で75歳以上の方が300万円以上出金する場合、預金小切手をすすめ、振り込み類似詐欺等の被害を防止

東部看護専門学校 助産師養成課程設置準備

- ・核家族化による妊娠産後の孤立や産後ケアの充実、子育ての不安解消を促進
- ・県立東部看護専門学校に助産師養成課程を設置
- ・教室、実習室等の施設整備、教育内容の検討(設置準備会開催等)



ニホンジカの捕獲対策

新たな知的特別支援学校の整備

- ・三島田方地区と浜松地区に新たな学校を整備
- ・施設狭隘解消と児童生徒の通学負担の軽減等
- ・現東部特支敷地と旧気質高校敷地を活用して整備
- ・平成33年度開校を目的に整備

